

経済学部（経済経営学科）の教育課程編成・実施の方針（Curriculum Policy ; CP）

経済学部（経済経営学科）は、本学科のDPを踏まえ、次のような方針で教育課程を編成・実施する。

<大学（学士課程）共通>

（CP1）大学共通DP及び各学科固有DPの各項目の達成、及び学生の自発的かつ能動的な学修の徹底を図るため、各学科の教育課程において8単位以上必修の演習科目を置き、卒業論文（またはこれに代わるもの）の作成を必修とする。

<全学共通科目（成蹊教養カリキュラム）>

（CP2）大学共通DPの各項目を達成するために、全学共通科目（成蹊教養カリキュラム）を策定する。カリキュラムとDPの各項目との関係はカリキュラムマップ（付表）によって示す。

（CP2-1）円滑な高大接続と（DP4）を達成するため、学部1年次前期をプレ・タームとし、学びの動機づけを目的とした科目を配置する。

（CP2-2）（DP4）の確実な達成を目指して、成蹊教養カリキュラム及び各学科のカリキュラムに留学、インターンシップ、ボランティア等の単位認定のしくみを設け、さらに成蹊国際コース等の選抜型の教育プログラムを設置する。

<経済経営学科>

（CP3）大学共通及び本学科の「学位授与の方針」（DP1）～（DP7）の各項目を達成するために、系統的・体系的に教育課程を編成する。教育課程とDPの各項目との関係はカリキュラムマップ（付表）によって示す。

（CP4）生涯にわたって経済学及び経営学を学び続けるための礎を築くには、専門分野の基礎の徹底的な修得が必要不可欠であり、このため1年次及び2年次に徹底的な基礎の修得を目的とした「コア科目」を配置する。

（CP5）専門知識、教養及び学際分野をバランスよく学修することができるように、教育課程の中に成蹊教養カリキュラム、経済学・経営学の応用発展科目、学際科目の3つの区分を明示し、それぞれから単位修得を行うことを基本とする。

（CP6）学生の自発的な学びを促すために、履修指針としての科目区分「スペシャリストコース」及び選抜制の特別な科目区分「特別プログラム」を設ける。